

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第41週（令和7年10月6日～令和7年10月12日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

麻しんの報告が1件（累積報告数22件）ありました。麻しんは、麻しんウイルスによる感染症で、その感染力は非常に強く、空気感染、飛まつ感染、接触感染により感染拡大します。感染後約10日で発熱や咳、鼻水などの風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関へ電話で連絡し、指示に従って受診してください。麻しんの予防のために、定期予防接種を受けましょう。

梅毒の報告が18件ありました。梅毒は、主に性的な接触で感染します。感染のリスクを減らすため、避妊具（コンドーム）を正しく使用しましょう。また、早期に抗菌薬で治療すれば完治が可能ですが、検査や治療が遅れると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。県内の保健所等では、梅毒等の性感染症の検査を無料・匿名で受けることができます。検査の詳細については、最寄りの保健所までお問合せください。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	12	586	228	10,842
腸管出血性大腸菌感染症	5	233	116	3,239
デング熱	1	10	5	130
日本紅斑熱	2	14	27	506
レジオネラ症	3	59	56	1,816
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	64	11	962
侵襲性肺炎球菌感染症	2	105	21	2,711
梅毒	18	591	186	10,730
百日咳	37	2,962	1,193	80,719
麻しん	1	22	1	229

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	402	3.30	0.79	18,587	4.82
インフルエンザ	261	2.14	1.08	6,013	1.56
急性呼吸器感染症	6,539	53.60	1.00	226,261	58.86
RSウイルス感染症	195	2.79	0.91	3,631	1.55
咽頭結膜熱	51	0.73	1.28	589	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	216	3.09	1.00	4,245	1.81
感染性胃腸炎	367	5.24	0.98	9,506	4.05
水痘	14	0.20	1.17	432	0.18
手足口病	38	0.54	1.81	913	0.39
伝染性紅斑（警報レベル）	151	2.16	1.02	2,898	1.23
突発性発しん	25	0.36	0.74	677	0.29
ヘルパンギーナ	3	0.04	0.43	1,258	0.54
流行性耳下腺炎	3	0.04	0.50	115	0.05
急性出血性結膜炎	3	0.12	3.00	16	0.02
流行性角結膜炎	30	1.15	0.71	705	1.01
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	14	0.03
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	24	0.05
マイコプラズマ肺炎	17	1.13	2.83	653	1.36
クラミジア肺炎	0	0.00	－	4	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	－	－